



MINOH no MORI ARTWALK 2023

箕面の森アートウォーク

箕面川に沿って大滝へと走る滝道は1400年もの昔、役行者や唐人が訪れた古道である。古来から、水の神、弁才天、その化身でもある白龍神が、箕面大滝に鎮まる。

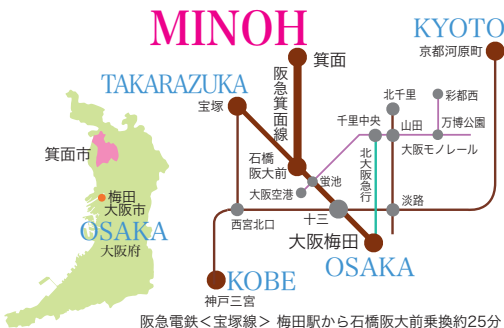
2023年秋、森が緋色に染まる時、滝道に今を生きる美の強者どもが集い、龍神を召喚する。大滝へ続く滝道の来し方に思いを馳せ、古今の美の息吹を蘇らせる。大滝は異界へのみちしるべ。

Fourteen hundred years ago, during the second half of the seventh century, the ancient Takimichi mountain trail, running along the Minoh River, was visited by the legendary holy man, En no Gyoja, noted for his practice of mountain asceticism, and by the Tojin people or Chinese Tang.

Since ancient times, Benzaiten, Goddess of Water, and her incarnation as the White Dragon, have been enshrined in the Minoh Great Waterfall.

In the fall of 2023, when the forest is bathed in autumn's shades of scarlet and gold, leading contemporary artists from all over the Kansai area will come together and again, applying their creative practice along the Takimichi trail to celebrate and call forth the Dragon God with one, unified spiritual voice. We can only imagine the great number of diverse people who, since ancient times have traveled this sacred mountain road, following the Takimichi to the Great Waterfall, reviving an air of mystical beauty from past to present.

The Great Waterfall is a guide post and gateway into the world of Pure Light and Spirit.



会期: 10/20 (金) ▶ 11/3 (金祝) 時間: 10:00~17:00
FRI FRI

会場: 聖天宮 西江寺 梅屋敷 箕面山 瀧安寺 琴の家 大滝前(滝前ギャラリー)

時空を翔る龍神の夢を大滝に見る —水の形、時の形、命の形—

Dream of Dragon God soaring through time and space...
Appears at the great waterfall -
The Shape of Water • The Shape of Time • The Shape of Life



悠久の時を流れて秋の瀧

through times' eternal flow
leaves red, green and gold
embrace the falling waters

*最新情報はHP、Facebookでご確認ください。

「箕面の森アートウォーク2023」で検索



公式ホームページ

コンテンツポラリアートギャラリーZone HPより

<http://www.artgallery-zone.com>



主催: 箕面の森アートウォーク実行委員会
プロデュース: コンテンポラリアートギャラリー-Zone
後援: 大阪府、箕面市、箕面市教育委員会、
公益財団法人箕面市メイプル文化財団
協力: 箕面山瀧安寺、聖天宮西江寺、箕面公園管理事務所
EIDAIホールディングス
助成: 大乘弘照箕面芸術文化振興基金

時空を翔る龍神の夢を大滝に見る

—水の形、時の形、命の形—

Dream of Dragon God soaring through time and space...
Appears at the great waterfall—
The Shape of Water•The Shape of Time•The Shape of Life

箕面の森アートウォークについて

箕面は、古くから大滝と紅葉で知られ、年間200万人もの人々が訪れる北摂屈指の観光地です。

アートウォークが開かれる滝道には、1350年もの長い歴史があります。古くは、658年、役行者が大滝のもとで修行をしたと言われています。以来、滝道は人々の往来が頻繁にあり、また、西江寺、瀧安寺など歴史的な建造物もあり、もはや箕面はまったくの原生的自然ではなくなっています。人間の営為が加わった自然なのです。つまり、文化的、歴史的な意味を担った自然(二次的自然)と言えます。

そうした長い歴史に支えられた、人間と自然の豊かな関係において拓かれた滝道に美術作品を設置することは、美術の視点においても、観光の視点においても意義のあることです。

本イベントでは、関西を中心に活躍している現代アーティストを招待し、箕面の自然・歴史的建造物・史話・施設などをテーマにしたサイトスペシフィックなアート作品を阪急箕面駅から大滝に至る滝道沿いやその周辺の施設や店舗などに、設置します。また、サイトスペシフィックなパフォーマンスも企画しています。

サイトスペシフィックアートは、文字通り設置される環境や文化、歴史そしてそこに関わる地域の人々の生活を反映した作品を指します。その地域の人々の生活に密着し、現代アートの仕掛けによって来訪者(観光客・観客)が箕面の歴史、文化(風土)とかわり、風景の再発見に繋がる、そういったアートイベントを企画しています。

中谷 徹 箕面の森アートウォーク プロデューサー

About Minoh no Mori Artwalk

Minoh is well known for the autumn leaves and the waterfall since long ago: it is the most popular tourist spot in the Hokusei region, where two million people visit throughout the year. The Takimichi, the venue of this art event, has a long, 1350 year history. It is said that Enno Gyoja (a mountain priest) practiced asceticism at the waterfall in 658. Since then the Takimichi (a path to the waterfall) has not been a virgin forest. Its nature has been altered by human activities. That means that it is a nature loaded with cultural and historical meaning. It is very significant to install contemporary art work along the Takimichi, where a rich relationship between man and nature has developed, in both point of view, art, and sightseeing.

For this event, contemporary artists who are at the cutting edge, mainly in the Kansai area, are invited. Site-specific artwork is installed at facilities and stores along or neighboring the Takimichi, leading to the Otaki, or waterfall, from the Minoh station on the Hankyu railroad. Performance will be featured.

Site-specific art refers to an artwork that is created taking the location, the environment, the facilities, the culture, the history and the people's lives in this community into account. Communicating with locals to know their lives is intended for art tourists and other visitors to understand what contemporary art is and to appreciate it to rediscover Minoh's nature, history and culture with a new perspective provided by the works of art.

This year's story of Minoh, once again, is about to unfold among the people on the stage of the Takimichi.

Toru Nakatani, Minoh no Mori Artwalk General Producer



Mt. MINOH

分岐注意

駅から約25分 **琴の家 屋外展示** Kotonoya 12 13

駅から約20分 **瀧安寺会場** Ryuanji Temple 弁財天の池 6

駅から約20分 **瀧安寺会場** Ryuanji Temple 鳳凰閣・客殿・本坊跡 (要拝観料) 7 8 9 10 11

駅から約15分 **梅屋敷** Umeyashiki 5

アートウォーク案内所

● 箕面市郷土資料館 (箕面サンプラザB1F)

箕面大滝 駅から約50分
Minoh Otaki (Minoh waterfall)
箕面滝前ギャラリー 14
The gallery in front of waterfall
ヴォワイヤンプロジェクト
ARプロジェクト pr



WC
姫石
琴の家の展示は対岸から鑑賞。敷地及び施設内には入場出来ません。山本珈琲前では橋を渡り、対岸の道を往復して下さい。

本坊跡
瀧安寺特別拝観エリアでの展示の為拝観料が必要です。拝観券ご購入の上、瑞雲橋を渡して下さい。
拝観券は瀧安寺事務所にてお求めください。(山門入ってすぐ左側)



箕面の森アートウォーク関連情報

- 1 長野久人氏の作品「アケビコノハの幼虫」が展示されています。
- 2 松山淳氏の作品「時間を繋ぐ」が展示されます。鑑賞には飲食を伴います。
- 3 橋本修一氏デザインによる1Fエレベーター扉絵。アートウォーク2017の同氏の箕面観光ホテルでの展示に併せて制作されました。

展示会場

聖天宮 西江寺 Saikouji Temple
1300年余り前のこと、役行者(えんのぎょうじゃ)が箕面大滝で修行していたところ、ある日、光の中から老翁に化身した大聖歓喜天(たいしょうかんぎてん)が現れ、箕面山を日本最初の歓喜天霊場としたと伝えられています。本堂には役行者作の大聖歓喜天が祀られ、現在も地元の方神として「聖天さん」と呼ばれ信仰を集めています。また室町時代中期に作られたという大黒天も祀られています。

梅屋敷 Umeyashiki
休憩所として利用されている梅屋敷は、明治の後期にはたくさんあった茶店の中で唯一現存している建物です。網代造り(あじろづくり)の天井に特徴があります。かつて周囲が梅林であったことから「梅屋敷」と呼ばれるようになりました。

箕面山 瀧安寺 Ryuanji Temple
日本最初にして最古の弁財天を祀っています。658年、箕面滝で修業していた役行者は、弁財天の導きを受けて悟り宗教家として大成しました。その報恩感謝として、自ら弁財天の像を作製し、滝の側に祭祀して箕面寺と称したのが始まりです。(後に瀧安寺と改称)以後、多くの修行者が入山し、山岳の道場として発展しました。行基、空海(弘法大師)、聖宝(理源大師)、圓珍(智証大師)、法然、日蓮、蓮如も入山しました。

客殿 鳳凰閣 本坊跡 <台風被害からの復旧と特別拝観>
平成30年9月4日に近畿圏を通過した台風21号により、国有有形登録文化財である鳳凰閣、客殿、本坊が破損しました。令和元年3月に大修理が始まりましたが、本坊再建に至らず、令和3年4月に鳳凰閣・客殿の修繕を終えることとなりました。令和3年10月より、再建した鳳凰閣と客殿を特別拝観できるようになり、拝観料は本坊再建や周辺の整備に充てられます。

琴の家(屋外) Kotonoya
琴の家は、明治の終わりから昭和にかけて高級料理旅館として営業をしていました。野口英世が母シカを伴って訪れたことでも有名です。琴の家の風情あるたたずまいは、今も渓谷を挟んだ対岸から眺めることができます。
※施設内、敷地には入れません。
琴の家の展示は全て対岸から鑑賞して下さい。

箕面大滝 滝前ギャラリー Minoh Otaki (Minoh waterfall) The gallery in front of waterfall
滝道の終着点、箕面大滝は日本の滝百選の一つに選定されている、落差33mの美しい滝です。役行者は658年25歳のときに箕面の滝の龍穴で龍樹菩薩の影現に会い修験独特の灌頂の秘法を受けたとされています。



アーティスト

- 1 浅田 雅子 4P
- 2 小松原 智史
- <聖天閣>
- 3 藤飯 千尋 5P
- パフォーマンズ
- 4 吉岡 邑玲

- 5 松山 淳 5P

- <弁財天の池>
- 6 ヒロ 忠之 5P

- 要拝観料
- <鳳凰閣>
- 7 田中 広幸 6P
- 8 長野 久人
- 9 山口 良臣

- <客殿>
- 10 浜本 隆司 7P

- <本坊跡>
- 11 郡 裕美

- 12 高田 雄平 8P
- 13 南野 馨

- <滝前ギャラリー>
- 14 岡本 光博 8P

- <大滝前横>
- pr 今井 祝雄 9P
- ヴォワイヤンプロジェクト

西江寺会場 Saikouji Temple 駅から約10分
境内 1 2 聖天閣 3 4
※西江寺定例会開催中は聖天閣へ入場出来ません
アートウォーク案内所 Information

箕面の森アートガイドツアー 10/22(日) (参加自由・無料)
時間:午後1時(集合)~午後3時(滝前解散)
集合場所:アートウォーク案内所(西江寺境内)
ツアーガイド:児玉明美 (実行委員・アーティスト)
*展示会場を解説しながらご案内します。
*途中参加、退場もOK! お気軽にご参加ください。

役行者創作朗読とヴァイオリン演奏
吉岡 邑玲
10/21(土)・10/24(火)
両日とも13:30~15:30~
場所/西江寺 聖天閣
詳しくは5ページへ

箕面の森アートウォーク推奨コース
駅から約00分 時間表示は推奨コースでの参考時間です。(鑑賞時間は含まれていません。)
※地図の縮尺は実際とは異なります。

西江寺定例会 阿字観瞑想会(小倉住職) 西江寺 de ヨーガ
10/23(月) ●瞑想会 午前7:30~ ●ヨーガ 10:45~12:00
10/28(土) ●ヨーガ 午後13:30~ ●瞑想会 15:00~16:00
場所/西江寺 聖天閣 それぞれに参加費が必要
詳細お問合せ 西江寺 または 中井カオリ (deヨーガ講師) aalayogahawaii2012@gmail.com

「彷徨の森」①

浅田 雅子 ASADA Masako

ここ西江寺は古くより修行の地
人の里と神々の森を隔てる結界である
かつての修験者たちも、旅立ちを前に愛しい
人との別れを惜しんだのだろうか
彼らは何を願って山に籠もり
何を望んで瀧に打たれるのか

この花は天竺牡丹
明日を求め、希望の光を探すため
土を抜け出し、根を捨てて歩き出した
けれどたやすく答えが見つかるはずもなく
森の中で彷徨い続けている
修験者たちの喜びや哀しみ、そして見果てぬ
夢が化身となって
この花を生み出したに違いない



素材：樹脂粘土、ワイヤー、油絵の具



(主な展示会)

- 2016 3人展 息吹 ギャラリー佑英 (大阪)
- 2017 大人kawaii展 アート美空間Saga (神戸)
- はなひとたち 高瀬川四季Air (京都)
- 2018 3人展 連綿 ギャラリー佑英 (大阪)
- 2019 八寸展 ギャラリー佑英 (大阪)
- はなひとたち 高瀬川四季Air (京都)
- Be Happy! アート 美空間Saga (神戸)
- 2020 個展 彷徨の森 神戸北野坂artbox t (神戸)
- 未来箱-これからがこれまでを決める- アート美空間Saga (神戸)
- 個展 素 shiro ギャラリー佑英 (大阪)
- 2021 たからものforおくりもの biome (神戸)
- Happy pop Canvas badge アート美空間Saga (神戸)
- 同時代展 同時代ギャラリー (京都)
- 2022 植物の子カラ TriAngle gallery (箕面)
- 個展 素 shiro ギャラリー佑英 (大阪)
- 2023 PRISM コンテンポラリーアートギャラリーZone (箕面)

「コマノエ」②

小松原 智史 KOMATSUBARA Satoshi

コマノエは言語によって説明されないイメージによって描くドローイング群です。

無意識の表れでもあるドローイングを介して自己分析をし、身体や思考のクセ、無意識の選択を意識下に起こし、理解してコントロールする為の装置としての役割を持っています。

この自分自身と向き合う行いは、昔からこの箕面の山で行われていた修行と共通する部分があるように感じたので、自分の作品を使ってこの場所にも瞑想場となる空間を作りたいと考えました。



素材：ABS



- 1989 奈良県生まれ
- 2011 大阪芸術大学 美術学科 卒業
- 2013 大阪芸術大学大学院 芸術研究科 修士課程 修了
- [個展]
- 2021 「小松原智史展」 ガレリア・フィナルテ (愛知)
- 2022 「はける | きえる | うけいれる」 the three konohana (大阪)
- 2023 「ムカデクジラを接ぐ」 Cafegallery 空木 (奈良)
- [主なグループ展]
- 2013 「第16回岡本太郎現代芸術賞展」 川崎市岡本太郎美術館 (神奈川)
- 2018 「アーツ・チャレンジ2018」 愛知芸術文化センター
- 2020 「Material Incident」 Dual gallery (ジローナ/スペイン)
- 2021 「AT arts exhibition」 浄厳院 (滋賀)
- 2022 「mind trail」 曾爾エリア (奈良)
- [主な受賞]
- 2012 アートストリーム2012 大賞
- 2013 第16回岡本太郎現代芸術賞 特別賞

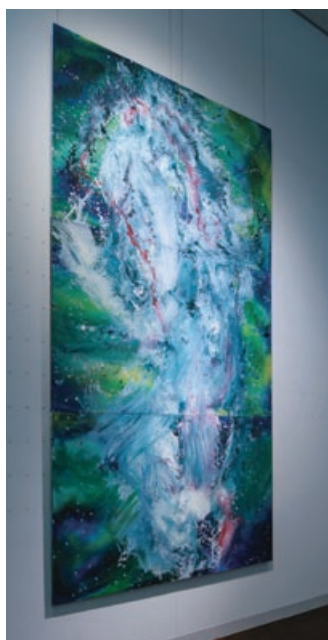
「Shining」③

藤飯 千尋 FUJII Chihiro

西江寺の境内にある木の下で、役行者が歓喜天に出会い、そのご縁で西江寺を建立したという。その場面を想像し、箕面の森を見上げると、時代がタイムスリップしたかのような錯覚に陥った。
生い茂った緑豊かな葉のすれあう音、鳥のさえずり、川のせせらぎ、それらは時代が変わっても変わらない自然。

時を超えて今、ここに立つ私は過去に想いを馳せながら豊かな自然と箕面を見守り続けてきた神々に祈りを捧げようと思う。

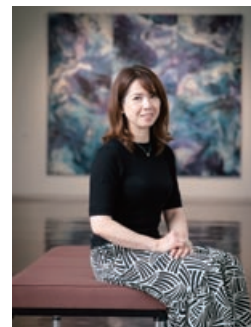
素材：パネル、アクリル絵具



- 2018 『アメリカ経済の終焉』 若林栄四 装画 (集英社)
- 2020 令和元年度 亀高文子記念 赤舂社賞受賞 兵庫県芸術文化協会)
- 個展
- 2007 十一月画廊 (東京) ['16]
- 2010 ギャラリー島田 (兵庫) ['11~'18, '20, '22, '23]
- 2017 喜多美術館 (奈良)
- 2020 令和元年度 亀高文子記念 赤舂社賞受賞記念展 (兵庫県民会館)
- 2021 西脇市岡之山美術館 アトリエ室 (兵庫)
- 2022 天プラ・セレクション vol.98 (岡山県天神山文化プラザ)
- ギャラリーIK (東京)

グループ展

- 2010 「ボウ展 II」 (兵庫県立美術館ギャラリー) ['13, '17]
- 2014 「現代美術日韓展」 (東京)
- 2015 「現代美術日韓展」 (韓電アートセンター/韓国 ソウル)
- 2017 「Prism」 (コンテンポラリーアートギャラリーZone/大阪)
- 2019 「コレクション+ma solitude (私の孤独)」 (ギャラリー島田/兵庫)
- 「楽・彩・憂・虚・求」展 (BBプラザ美術館/兵庫)
- 2022 「未景展」 (泉涌寺/京都)



西江寺定例会 阿字観瞑想会 (小倉住職) 西江寺 de ヨーガ
 10/23(月) ●瞑想会 午前7:30~ ●ヨーガ 10:45~12:00
 10/28(土) ●ヨーガ 午後13:30~ ●瞑想会 15:00~16:00
 場所/西江寺 聖天閣 *それぞれ別途参加費必要
 注:西江寺定例会の開催中は聖天閣へは入場できません。

※作品写真はプランによるイメージであり実際の展示作品と異なる場合があります。

「役行者創作朗読とヴァイオリン演奏」④

吉岡 邑玲 YOSHIOKA Yuri

開催日時: 10/21(土)・10/24(火) 両日も 13:30~15:30~の2回

霊山箕面山。古代から人々とともにあり、人々を守ってきた。その祈りは静かに深く流れ、木立に清流に精霊たちが舞う。~その昔 役小角が 五色にたなびく雲に導かれて箕面の村へたどり着く。深山幽谷の箕面山で歓喜天と出会った小角。その対談石が今も残る西江寺。役行者ゆかりの場所で自ら創作した物語を語り、インスパイアされた音楽をヴァイオリンで奏でる。白龍が舞う神秘的の森が私たちを悠久の時空に誘う。



大阪大学文学部美学科卒業。文学士。ヴァイオリンを塩田濱子氏、北尾俊平氏に師事。ミラノ・スカラ座ホルン奏者のアレッシオ・アレグリーニ氏、チェコのチェリスト プラダン・コチ氏ら海外のアーティストの薫陶を受ける。府立北野高校時代にオーケストラ活動を始め、メイプルフィルハーモニックなどコンサートマスターを歴任。ソロや室内楽、オーケストラなど幅広く活動。和楽器やバンドとのコラボレーションも。2018年 箕面滝道復活祭で大滝前での記念演奏 2021年 箕面文化芸能大劇場こけら落とし公演 2022年 箕面龍安寺での朗読 など、地元箕面でも多様な活動を展開中

またFM802のニュースなどを経てアナウンサーとしての活動も並行し、司会やナレーション・朗読など声を使って表現していくことに大きな魅力を感じている。2022年ザ・シンフォニーホールでの「ウクライナ人道支援コンサート」での司会・演奏など二刀流での活動も行っている。多様なアートが繋がり・重なり・響き合うことを志向している。

パフォーマンス
聖天宮 西江寺 聖天閣

「時間採集」⑤

松山 淳 MATSUYAMA Jun

箕面の滝へ通じる滝道界隈が栄え続け、1400年後の現在。作品は、この2023年という現在を採集して、金箔、色箔などの箔で覆うことにより時間を閉じ込め、標本にする。それは、箔押しを生業にしている私という線と1400年の時を経た箕面の線が点で交錯した時間。それは、後にも先にも起こることのない刹那の時間、刹那の輝き。



素材:色箔、木材



旬彩和食 紅葉にて展示
「時間を繋ぐ」
素材:乾漆、漆、布、金箔、色箔
※飲食を伴います

- 2000 京都市立芸術大学大学院美術研究科工芸専攻修了(漆工)
- 2002 初個展で2個展同時開催 (立体ギャラリー射手座、アートスペース虹/京都) 以後個展多数開催。GEISAI-2(東京ビッグサイト/東京) スカウト 審査部門 TOKYO FM賞 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ(新潟)
- 2006 Christie's Hong Kong(香港)
- 2010 BASARA展(スパイラル/東京)
- 2011 漆展 - 新しい漆のかたち - (伊丹市立工芸センター/兵庫)
- 2017 Vvk18 松山淳キュレーション ひとがた展(KUNST ARZT/京都) 箕面の森アートウォーク2017(大阪・箕面)
- 2018 ~アー!ット叫ぶアート~大Ah!rt展(西武渋谷店/東京)
- 2021 ノーサイド展 東京藝大ラグビー部×京都芸大ラグビー部 (MITSUKOSHI CONTEMPORARY GALLERY/日本橋三越本店・東京)
- 2022 ギャラリズム(ピアスギャラリー/大阪)



梅屋敷

「身近にある遠い音楽」⑥

ヒロ 忠之 Tada yukiHiro

人は何故 歌を忘れたの♪と歌われた遠い音楽。自然は素晴らしい音色で満たされています。風のそよぐ音、水が流れる音、鳥の囀り...自然と共に暮らす中で時には荒々しく、時には静かな自然の音は私たちの生活を彩ってくれます。しかし都会には多くの機械音が響き、喧騒の中、自然のそのような音は遠く霞んでしまっています。普段、忘れがちそのような音楽も無くなったわけではありません。身近なところで今も昔と変わらずメロディを奏でています。

都会から離れ、豊かな自然の中に身を置き、ゆったりとした時間を過ごしていると遠くになっていたそのような音楽をまた身近に感じることができるでしょう。弁財天の池の周りで。



素材:XPS(芯)、FRP(表面)

1962年、札幌市で生まれる。旭川市で高校まで過ごし、京都市へ。大学では日本画を専攻。卒業後は大阪市で教師をしながら、立体表現の面白さにはまる。教員を早期退職し、制作の傍ら、リフォーム関連の仕事や地図の調査などさまざまな仕事を体験する。現在、法隆寺に勤務している。

- 2005 大阪双線美術小品展
- 2014 大阪彫刻家会議 所展・花と彫刻展(朝公園)奈良県美術人協会 入会
- 2015 白日会 彫刻部 入選・はならあと(生駒宝山寺参道)
- 2016 はならあと(今井町)・京都野外彫刻展・徳島野外彫刻展・柏原ピエンナーレ・新春彫刻展(マサゴ画廊)
- 2017 斑鳩美術協会 入会
- 2018 千支アール展・日本美術家連盟 入会
- 2020 風と土のふれあい芸術祭in伊賀
- 2021 きのうちとあすの対話IV 2021
- 2023 現生展

- 個展
- 1984 人・歩の章
- 2014 果実の時代
- 2020 風の骨格



箕面山 瀧安寺 弁財天の池

飄逸の系譜Ⅱ

私達は2016年以来、俳句を手掛かりとして美術表現の有りようを探ってきた。俳句は説明することなく言葉置き、その言葉と言葉の合間に言葉にならない世界が立ち上がる。今回のアートウォークのテーマにあるのは龍神と滝。現代を生きる私達にとっての龍神と滝とは？美術という枠組みの中で、何を表現するのか？俳句の世界に対する対し方、表現の構えは美術としての展開を考える上でも大きな指針となる。

「夕まぐれ木立にまどふ滝の音」⑦

田中 広幸 TANAKA Hiroyuki

風もやみ、鳥たちの声も消えた薄暮の箕面山。滝音は、まるで幾千の人間が、てんでに語り続ける喧騒のようだ。しかしその喧騒は木々の隘路に迷い込み、右へ左へと惑いながら、やがて出自のかたちを見失う。もはや幾千幾万の言葉ではなくなった滝音は、振動のままに静寂となる。



素材:古書



- 1960 滋賀県生まれ
- 2022 風の黙示録(田中佐弥・田中広幸) コンテンポラリーアートギャラリーZone(箕面)
- 2021 PRISM コンテンポラリーアートギャラリーZone(箕面)
- 2020 箕面の森アートウォーク(-飄逸の系譜-箕面固定公園 梅屋敷)
- 2020 紙のオブジェ ギャラリーLands End(姫路)
- 2019 俳句×美術/伊賀上野(伊賀市日崇廣堂)
- 2019 個展 ギャラリー16(京都)
- 2017 俳句×美術/伊賀上野(伊賀市入交家住宅、俳句×美術in篠山(篠山市鳳凰会館、猪名川町静思館)
- 2016 俳句×美術in篠山(篠山市旧後川小学校、小南亭)
- 2015 岐阜おおがきビエンナーレ-CRACKS OF DAILY LIFE-(IAMAS)
- 2014 個展 ギャラリー16(京都)
- 2013 田中広幸 古書籍から繰り出されるコトバと文字の世界 伊丹市立工芸センター
- 2013 夏の思い出森の夢 ヤマザキマザック美術館(名古屋)
- 2013 箕面の森アートウォーク(-思索の森-旧橋本亭 箕面)
- 2012 個展 ギャラリー16(京都)
- 2011 個展 ギャラリー16(京都)

「向日葵」 コラボ作品 ⑧

向日葵は劣化なんとか弾ではない

× 藤田 俊 FUJITA Shun

長野 久人 NAGANO Hisato

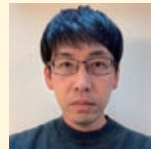
瀧安寺の採燈大護摩供は、護摩木を焚きながら山伏達が問答、法弓、法剣等を行う。安寧を祈る僧たちの読経の真剣さに心打たれた。藤田の向日葵の句は、原始心性とも言うべき直感で現況の瞬間の断面を相対化させた記録なのだ。向日葵から想起されるウクライナ侵攻の悲惨さである。時事作品は、一過性のもので普遍性や芸術性が希薄だとされる。しかし藤田の句も、私の作品も箕面の僧たちや山伏と同じ平和への希求と祈りそして暴力へのアンチテーゼなのだ。



- 長野 久人
1953 北海道生まれ
1986 京都市立芸術大学大学院美術研究科修了
- 個展
2022 city gallery2320(神戸)
2020 ブティックMARCO(大阪)
2019 コンテンポラリーアートギャラリーZone(箕面)
2018 MU東心斎橋画廊(大阪)
- グループ展
2023 ウ宙エン ルネッサンス・スクエア(姫路)
2021 art drops スピニングミル(堺)
gallerisum 2021 in 中津(大阪)
- 2020 箕面アートウォーク2020(箕面)
2019 俳句×美術 in 伊賀上野2019(伊賀市)
長野久人&アンドレイ・ヴェルホフツェ展(姫路)
2018 丹波篠山・まちなみアートフェスティバル2018(丹波篠山)
2017 俳句×美術 in 伊賀上野(伊賀市)



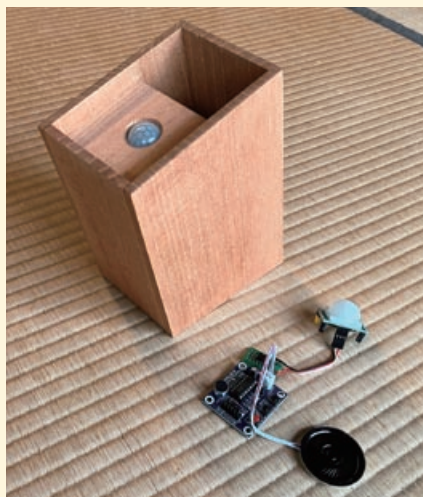
- 藤田 俊
1980年(昭和55年)愛媛県生まれ。
兵庫県宝塚市在住。
失業中に特別な時間や場所、道具がいらない俳句を作りはじめる。
「猫街」同人。「窓の会」常連。
現代俳句協会会員。
『俳句の社2022』(本阿弥書店)に参加。
共著に『関西俳句なう』、『坪内稔典百句』。第五回船団賞。
- 代表作
キャベジンや春の夜に浮く観覧車
卒業は信号待ちの多い日で
枇杷落ちて枇杷の木という近所あり
どんつきでふっと上昇夏の蝶
冷奴しばし仏像として見る
あの女トートバッグに霧を飼う
ジオラマの街にレモンが降り注ぐ
冬青空担架で運ばれる係
白鳥がぼん酢醤油のはるか上



「言葉の雲」⑨

山口 良臣 YAMAGUCHI Yoshiomi

龍をテーマとした五つないし六つ程度の言葉(文節)を使った極めて短い詩を作る。それぞれの言葉は個別に、ささやき声でセンサーとボイスレコーダーからなる装置に録音され、センサーが人を検知すると再生される。装置は言葉ごとにそれぞれ複数用意し、空間に配置する。人の動きに応じて、それぞれのささやきは不連続に、時には重なり合って空間に漂う。



素材:ボイスレコーダー、人感センサー、木、その他



- 1950年生まれ
1980年頃よりビデオ・アート作品の発表を始める。日本国際美術展/1984、ヨーロッパ・メディア・フェスティバル/1989、モンペリアル国際ビデオ・フェスティバル/1990、ベルリン・フィルム・フェスティバル/1990、'91、オルフス国際ビデオ・フェスティバル/1990、'91等に出品。また、1980年代末頃よりインスタレーション作品の発表を続けている。近年は俳人とのコラボレーションを含め、俳句を手掛かりとした造形に注力している。芸術祭典・京/2000、つやま芸術祭/02、代官山インスタレーション '03、'05、大阪・アート・カレイドスコープ/2007、おおさかカンヴァス 2011、俳句×美術 in 篠山 2016、'17、俳句×美術/伊賀上野/2017、'19、箕面の森アートウォーク2020等に出品。

「龍の願い、人の夢」⑩

浜本 隆司 HAMAMOTO Takashi

龍が棲むという滝に、その気配と絵のイメージを求め滝前まで行った。落下する水しづきを全身に受ける中、龍のあるイメージが鮮明に浮かんだ。

私は帰宅して即座にそれをそれをエスキースに描いた、それは私の大いなる夢(幻想)となり、絵の完成にむけての期待の膨らむものとなった。またしばらくしてその夢(幻想)にひとつの言葉が浮かんだ。

それが絵のテーマとなる「龍の願い、人の夢」である。



素材:キャンバス、アクリル絵具



美術家。豊中市にアトリエを構える。1957年大阪府に生まれる1982年大阪芸術大学卒業卒業後テキスタイル・デザイナーとして2年間勤務。その後9年間公立中学校で教諭として勤務。その後独立し専門学校や文化センターの講師として美術教育に関わりながら、制作に専念し現在に至る。

〈近年の制作発表〉

- 2019 個展(芸術空間あおき、ギャラリー白) KASHIWARA芸術祭
- 2020 箕面の森アートウォーク TRIO with 中澤てるゆき、福田新之助「超幸福論」(ギャラリー白)
- 2021 個展(コンテンポラリーアートギャラリーZone) KASHIWARA芸術祭
- 2022 ギャラリズム TRIO with 中澤てるゆき、福田新之助「希へのぞみ〜」(芸術空間あおき)、「炎と共に」(ギャラリー白) 三毛乱,0 with 魔可多宮ナツ「遊星異次元トランスコロガ」(トライアングルギャラリー)
- 2023 個展(コンテンポラリーアートギャラリーZone) TRIO with 中澤てるゆき、福田新之助「グラン・ファミリー」(ギャラリー白)

「evocation」⑪

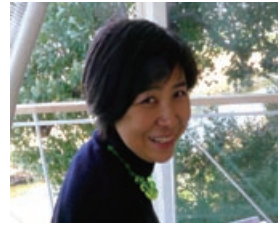
郡 裕美 KORI Yumi

かつて、ここには大屋根の庫裡があり、はるか元禄の時代より、多くの修験者たちの食事を賄ってきた。

土間のかまどでは火が絶えず、木組みが見える高い小屋裏の、煙抜きから差し込む天光は、さぞ美しかったに違いない。

5年前の台風でその建物は大破し、跡形もなく解体された。

時の流れの儚さを受け止めて、未来につながる確かな記憶を伝えたい。



建築家/美術家。建築設計と並行して世界各地でアート活動を行う。作品を通して空間の見え方を変え、固定概念を一蹴することを企てる。ベルリンの地下貯水場跡、ブラジルの旧砂糖工場跡などで、場の記憶や意味に呼応するインスタレーションのほか、銀座メゾンエルメス、ジャパソサエティ(ニューヨーク)、国立新美術館、オスカー・ニーマイヤー美術館(ブラジル)など世界各地でサイトスペシフィックな作品制作を行ってきた。京都府立大学を卒業後、スタジオ宙一級建築士事務所設立。住宅や公共施設、古民家再生や町並みデザインも手がける。1995年コロンビア大学建築学部修士課程終了の翌年よりコロンビア大学准教授に就任。以来、日米両国で建築教育に携わる。2016年より大阪工業大学R&D工学部空間デザイン学科の教授に就任。主な受賞:2004文化庁新進芸術家海外派遣、2011アジア建築家評議会金賞受賞、2015建築学会賞(業績)など。

〈台風被害からの復旧と特別拝観〉

客殿と鳳凰閣、本坊跡

平成30年9月4日に近畿圏を通過した台風21号により、国有形登録文化財である鳳凰閣、客殿、本坊が破損しました。令和元年3月に大修理が始まりましたが、本坊再建に至らず、令和3年4月に鳳凰閣・客殿の修繕を終えることとなりました。

令和3年10月より、再建した鳳凰閣と客殿を特別拝観できるようになり、拝観料は本坊再建や周辺の整備に充てられます。



客殿玉座

客殿は盈仁(えいにん)法親王がつとめられ1699年に行われた開祖役行者の1千年御遠忌法要に際し、全国から集まる修験者を迎えるため建築されました。その後光格天皇により、1799年、役行者に「神変大菩薩」の諡号(しごう)を贈られました。

枯山水の庭



注:〈台風被害からの復旧と特別拝観〉国登録有形文化財の客殿と鳳凰閣、本坊跡等の瑞雲橋を渡ったエリア)でのご観覧は拝観料が必要です。

「昇龍宝言 よみがえるもの」¹²

高田 雄平 TAKADA Yuhei

長い時間をかけて築き上げてきたものが失われてしまう。自然はまた長い時間をかけて戻っていくが、放置された場所は朽ちていく。しかし、廃材も場所も人の手によってよみがえる事が出来る。芸術の発表というこの場で、“廃材”は新たな命、滝から現れた龍の姿で生まれる。そして、失われた記憶、場所、物、思いなど、さまざまなものが琴の家でよみがえり、止まっていた時間が動き出す。



素材:新聞紙、針金、アクリル絵の具



嶋本昭三に師事

「マイナスの廃材からプラスの作品」をテーマに廃材で主に新聞紙で作品制作をし、国内外で発表
子供の時から変わらない好奇心や 鑑賞者に驚きを与えること誰もやったことがない、面白いことをしたい、それが創作の原点です

- ◆美術館個展◆ 2022 龍飛鳳舞・三木市堀光美術館・兵庫
- 2018 軽井沢ニューアートミュージアム
- ◆美術館◆ 2021 京都国際映画祭・AU 展示・京セラ美術館
- 2019 LA NASCITA DI PAM・ローマ現代美術館
- ◆海外個展◆ 2015 個展 ON ART GALLERY・韓国
- 2008,2010 個展・ブルリザードギャラリー・イタリア
- ◆芸術祭◆ 2017 INDIGO.Festival スロベニア
- 2010 上海万博・日本商品館
- 2007 PERFORMATIVE PAPER PROJECT・ベネチアビエンナーレサテライト企画・イタリア ベネチア
- ◆海外展示◆ 2008 PEG JAPAN-UKRAINIAN ART FESTIVAL・JTI 主催・ウクライナ オデッサ

注:琴の家及び展示場所には入れません。対岸から鑑賞ください。

「Untitled 2302」¹³

南野 馨 MIMAMINO Kaoru

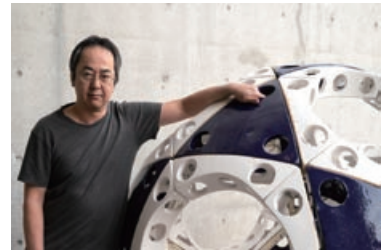
「高性能なものは美しい。」
自然から生み出されたものでも人の作りだしたものでも、必要な機能を得るために最適化されたものは美しい。私のやきものは鑑賞のためにのみ存在するため、それ以外の機能はない。しかしこれはなにか高性能な物であると理解される事を願い制作を続ける。



「Untitled 2201」
陶
170.0×170.0×170.0cm

“陶”を用いた造形が“クレイワーク”と呼ばれていた頃に作家を志した私に、大きな作品を作る事は必然であったし、その行為に疑問を抱くことは無かった。80年代後半から90年代前半にかけて芸術大学で陶芸やアートに触れた私は、自分に課した制約の範囲内で大きな作品を作る事に熱中し、大きさや重さに対して、自分自身がどこまで“陶”という素材を(一人で)“制御”出来るのかが制作の重要な意味となった。

注:琴の家及び展示場所には入れません。対岸から鑑賞ください。



- 1966 大阪府生まれ
- 1989 大阪芸術大学芸術学部工芸学科陶芸専攻卒業
- 個展
ギャラリー白、芝田町画廊、INAXガレリアセラミカ
- 他多数
- 主なグループ展
- 1994 近作展17-クレイワークの4人展(国立国際美術館:大阪)
- 1994 アーティスト・ファイル2010-現代の作家たち(国立新美術館:東京)
- 2010 Erosion/Transfiguration-侵蝕と変容の先の関係性へ(瑞雲庵:京都)
- 2015 コレクション展 2015-夏(和歌山県立近代美術館:和歌山)
- 箕面の森アートウォーク2015(大阪);17
- 2016 BIWAKOビエンナーレ(滋賀);18,20
- 2017 第12回パラミタ陶芸大賞展(パラミタミュージアム:三重)
- 他多数
- 2019 PRISM 2019 Vol.10(コンテンポラリーアートギャラリーZone:大阪)
- 現在
大阪芸術大学芸術学部工芸学科客員教授
武庫川女子大学建築学部講師

「Прекратите кровавый дождь!»¹⁴

岡本 光博 OKAMOTO Mitsuhiko



2023 ロシア文字(血の雨が止みますように)LEDライト、アルミパー

古来、雨乞いの祈りの場であった箕面の滝。白馬の生首を箕面の滝に投げ入れる儀式的記録がある。雨乞いの逆であるが、血の雨が止むことを託してみたい。



- 2023 「桜を見る会」eitoeiko(東京)
- 2022 「The Covers - Duchamp」KUSNT ARZT(京都)
- 「CART-SAITAMA 2022」さいたま市大宮周辺
- 「Prism 2022」コンテンポラリーアートギャラリーZone
- 「gallerism 2022」PIAS GALLERY
- 「縫い合わせる」ギャラリーギャラリー
- 2021 個展「オキナフ・ステーキ」eitoeiko(東京)
- 2020 「天覧美術」KUNST ARZT(京都)・eitoeiko(東京)
- 「箕面の森アートウォーク2020」滝前ギャラリー(大阪)
- 2019 「あいちトリエンナーレ2019」<表現の不自由・その後>愛知県美術館
- 「美少女の美術史」MoNTUE北師美術館(台湾)
- 「セレブレーション」スターリ・プロウヴァル(ポズナン、ポーランド)
- 2018 福岡城まるごとミュージアム
- Undisrememberable Curios, POST(ロサンゼルス、U S A)
- 2017 「箕面の森アートウォーク2017」滝前ギャラリー(大阪)

※作品写真はプランによるイメージであり実際の展示作品と異なる場合があります。

ヴォワイヤン・プロジェクト Voyant Project

「瀧見ヴォワイヤン」

後見人 今井 祝雄 IMAI Norio

フランス語で見る人のおり、"見られる像"でなく、それ自体が何かを"見る像"であるヴォワイヤンは、これまで箕面の森アートウォークで観客とともに往来したり、沿道の各店舗に日替わりで迎えたり、屋根の上に座るなど、私はこの催の狂言回しというべきヴォワイヤンの作者ならぬ後見人なのかもしれません。

今回は大瀧と対峙します。はたして龍神と出会うのでしょうか？



素材:強化プラスチック/F.R.P. Reinforced plastic, paint
幅50cm・奥行90cm・高さ130cm 重さ約9キロ



1946年、大阪に生まれ在住。大阪市立工芸高校在学中から吉原治良に師事し、具体美術協会に参加。1966年、第10回シェル美術賞一等賞受賞。以来、内外の展覧会に出品多数。造形に限らず写真やビデオによる作品やパブリックアートを制作。目下、香港で個展のほか11月5日まで東京都写真美術館で開催中の「風景論以後」展に出品。著書に〈白からはじまる〉(ブレーンセンター)、〈タイムコレクション〉(水声社)ほか、近刊に〈白とフレーム〉(水声社)がある。

滝前に白龍神を召喚

ARプロジェクト

箕面川に沿って大瀧へと走る滝道は1400年もの昔、役行者や唐人が訪れた古道です。古来から水の神、弁才天、その化身でもある白龍神が、箕面大瀧に鎮まっているといわれており、その白龍神をARで再現します。スマホでお楽しみいただける体験型のイベントです。

ARとは現実世界を立体的に読み取り、仮想的に拡張する技術のことです。例えば平面や空間にスマートフォンをかざすことで、バーチャルの情報を現実世界に重ね合わせて表示する技術です。



スマホをかざすと
白龍神が出現

電波状況でARが起動しない場合がございます。予めご了承ください。



ARプロジェクトは箕面の森アートウォークの新しいチャレンジでもあり新しい展開を模索するプロジェクトです。様々な費用をクラウドファンディングで集めます。その状況によっては規模の縮小や中止になることもあります。実現に向けて皆様の応援のほどよろしくお願いいたします。

プロジェクトの開催状況、クラウドファンディングに関する情報は公式ホームページ、フェイスブック等で掲載予定です。

※クラウドファンディングの実施は2023年8月～9月頃を予定しております。



株式会社PLAN HOLIC

高松 亮太

TAKAMATSU Ryota

プランナー

1983年生まれ

大学卒業後広告代理店に入社。

以後17年の間にプランニングや販促プロモーション、企業キャラクターのプロデュース、イベントなど多岐に渡る企画を担当。

2023年7月株式会社PLAN HOLICを設立。

滝道に古代の神々をイメージした白龍を出現させたい！

”白龍”のぼりプロジェクト

稲作が始まった時代、稲光と共に天から降り注ぐ水は人々にとって、大切な存在であり、川は信仰の対象だったと考えられます。その源流である深山は、神々の領域でした。人々が暮らす里山では、白蛇や瀬織津姫の信仰が生まれ、やがて伝わる仏教や道教の影響下、不動明王、弁財天と融合しつつ、修験道などの山岳信仰の中で、龍の姿で語られ続けてきたと思われまます。

大陸文化のイメージが強い龍ではなく、古代の日本人が思い描いた、神々の化身としての龍の姿をデザイン的に描きたいと考えました。箕面滝道の風景と白龍をテーマに描いた”のぼり”の数々を、アート会場である瀧安寺や西江寺を中心に並べます。箕面滝道の風景の中に現れる白龍達の”のぼり”の数々が瀧安寺や西江寺を中心に旗く姿をお楽しみください。



「瀧安寺と龍」

「琴の家と龍」

「役行者と龍」

”のぼり”は、一部、皆様の協賛費用により制作詳しくは(10ページ参照)

橋本 修一

HASHIMOTO Shuichi

1951年生まれ

グラフィックデザイナー (CATBOX-X)

1970年よりGデザイナーとして活動、アドキャラバン主宰、(株)トランスワード常務取締役等をへて現在に至る。

NPOパードハウスプロジェクト 理事、箕面の森アートウォーク 実行委員、宝塚現代美術てん・てん実行委員

■最近の主なクリエイティブワーク

・箕面の森アートウォーク作品集2017、2020

・句集 / 梶山尚屋「牽牛」梶山照江「織女」

・井上ちふみ作品集「ガラス絵の世界」海月文庫

・魔可多宮ナツ 「Maca Story BOX」写真集「迷子散歩」

・頭士深雪 日本画作品集「華」等の自費出版デザイン

・親世流能楽師 上田拓司「照の会」等リーフレット全般

・箕面の森アートウォーク、宝塚現代美術てん・てん等のアートイベントのデザインワーク、アートディレクション

■最近の主な作品展

・「記憶の中の風景」2017、2022 日本庭園ギャラリー(サンディエゴ)

・写真展「千里」(勝部)2021、「マンカトル豊中ツアー」2022

・「女神出現」橋本あやめコラボ2020 (TriAngle Gallery 大阪箕面)、

箕面の森アートウォーク2023開催に向けて

地域活性化を目的に過疎地、観光地で近年よく開催される芸術祭と異なり、箕面の森アートウォークは、現代アートの表現形態のひとつであるサイトスペシフィックアート(Site-Specific Art)を基本コンセプトとして、箕面滝道にて開催してきました。

サイトスペシフィックアートは、設置される環境や文化、歴史、そしてそこに関わる地域の人々の生活を反映した作品を指します。来訪者(鑑賞者)が箕面の歴史、文化(風土)とかかわることで、その風景や地域文化の再発見に繋がるアートイベントを企画し、その主旨をご理解頂けるアーティスト作品を滝道を中心とした箕面の森で展示してきました。

また、そのコンセプトの元に、過去10年間、それぞれのイベントごとに一貫してテーマを設けてきました。

2013年「つながる視点」

2015年「はぐくむ視線、生まれる造形(かたち)」

2017年「古の箕面が映ろう造形(かたち)」

そして、2020年「美神おわす霊山箕面に顕わる造形(かたち)」

それらの言葉に通底しているのは、「アーティスト」と「場」の特性(地理的、地勢的、文化的、歴史的な要素など)、「鑑賞者」との関係性において新たな表現を模索している点です。目指しているのは、この期間にこの場でしかできないというミニマルな条件下で、新たに「場」を顕在化し創造的な視点を提供することです。このことは、訪れた人々が「アーティスト」と「作品」、「場(箕面の森)」の関係性を理解する最も有効な手段であると言えるのではないのでしょうか。

これまでに開催された箕面の森アートウォーク



2020年

2017年

2015年

2013年

皆様からのご支援とボランティア達の協力によって、箕面滝道で開催されるアートイベントです。

箕面の森アートウォーク2023の開催にあたり、特別の組織や企業は存在しません。その運営のすべては、有志で構成された実行委員会メンバーとお手伝い頂けるボランティアの方々のご協力で開催されます。また、作品の設営や管理、各プロジェクトの実現の費用、ガイドブックの印刷費等の開催、運営にかかる諸経費はすべて皆様からの協賛や寄付金でまかなわれています。

箕面の森アートウォーク2023開催にあたり、主旨をご理解頂きご協賛頂いた個人、企業の皆様、ボランティアで参加くださる皆様に厚く御礼申し上げます。

開催にあたり皆様の更なるご支援の程お願い申し上げます。

ボランティアスタッフを募集します

一緒に箕面の森アートウォークを盛り上げて頂ける方を募集します。

- ・現代アートや箕面の歴史・文化に興味のある方
 - ・アーティストのサポート、作品の見守り、お客様の案内のお手伝いを頂ける方
 - ・作品、案内板、のぼり等の設置や撤収をお手伝い頂ける方
- お気軽にお問い合わせください。

協賛のご支援をお願いします。

★開催に向けて皆様のさらなるご支援を賜りましたら幸いに存じます。

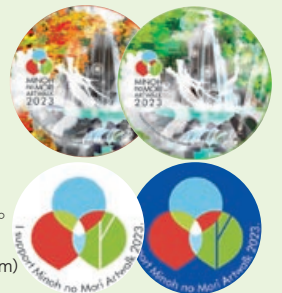
●個人協賛 1口 2000円

●バナー協賛 5000円(公式ホームページ)

缶バッジ等の限定グッズをご用意しています。

協賛者用缶バッジ

白龍と滝(57mm)ロゴマーク(38mm)



展示会場に旗めく白龍たち

”白龍”のぼりプロジェクトに協賛頂ける方を募集します。

のぼりには協賛頂いた方のお名前、店名、企業名等を掲載致します。

●1枚につき8,000円

箕面の森アートウォーク2023の各会場と白龍をデザインしました。

8種類のデザインからお選び頂けます。1枚からお申込み頂けます。

※協賛頂いたのぼりは箕面の森アートウォーク2023終了後、記念品として差し上げます。店頭用ののぼり等に、ご自由にご利用ください。
注: ポールなどの設営部品は付属しません。

協賛金は”のぼり”制作費、箕面の森アートウォーク運営費用に使われます。

※のぼりデザイン、詳細は別申込チラシ、公式HP等にてご覧下さい。



箕面の森アートウォーク2023実行委員会

※実行委員はすべてボランティアにて構成されています。

●総合プロデュース



中谷 徹 中谷 雅代
コンテンポラリーアートギャラリー Zone



小田桐真由美



岸本延子



児玉明美



仲摩洋一



高松 亮太



中井香織

●アートディレクション



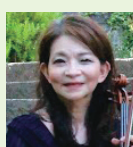
橋本修一
CATBOX-X



橋本あやめ



李青雨



吉岡邑玲

箕面の森アートウォーク2023クラウドファンディング開設

2023年8月~9月頃を予定しております。

HP、Facebookでご確認ください。「箕面の森アートウォーク2023」で検索



箕面の森アートウォークロゴマークについて

ロゴマークのデザインは光の三原色図を基に制作された。「赤」はアーティスト、「緑」は箕面の森、「青」はコミュニティを表している。それぞれの色が影響し合うことで、新たな色が生まれる。三つの色が変わる真ん中の白、そこにどんな世界が出現するのか? 「箕面の森アートウォーク」にて目撃して頂きたい…。(デザイン: わにぶちみき、監修: 橋本修一)

ボランティア・協賛 その他お問合せは

箕面の森アートウォーク実行委員会

連絡先 | m-artwalk@zone.tank.jp

コンテンポラリーアートギャラリー **Zone** 内

Phone 080-3106-3177

〒562-0043 大阪府箕面市桜井2-10-5 <阪急桜井市場>



私たちは箕面の森アートウォーク2023を応援します。

バナー協賛

箕面の美味しいお土産揃ってます！
久國紅仙堂 Cobeni店
 箕面市箕面1-4-19 072-723-6283

箕面滝道
旬彩和食紅葉
 072-723-5525

ペットの似顔絵オーダーと北欧雑貨のお店
インテリアアート Hygge
<https://www.rakuten.co.jp/ik-hygge/>

現代アートを中心とした、貸・企画 画廊
 ホワイト・キューブの自由空間
Gallery H.O.T
 Contemporary Art
 大阪市北区西天満3-6-3 西天満福岡ビルディング1FC Tel:06-6363-2536

MU 東心斎橋画廊 2F/3F
 大阪市中央区東心斎橋1-12-14 MUBLD
 TEL 06-4963-2103 メール ga.mu.ueda@live.jp
<http://www.mugarou.com>

西江寺 de ヨーガ
 よがとか 中井カオリ

『島を造る 2023』
 at コンテンポラリーアートギャラリー Zone
小泉光子 KOIZUMI, Mitsuko

TANAKA Saya
田中佐弥

菅谷知子

高野山真言宗 日本最初大聖歓喜天出現霊場
箕面山 聖天宮 西江寺
 〒562-0001 箕面市箕面二丁目五番二十七号
 電話 (072) 721-3190

滝道の真ん中の休憩所
お食事処 つる家
 箕面滝道 修業古場 072-721-3380

こども美術教室
アトリエDADA
 箕面市桜井2-10-5 桜井市場内
 アトリエDADAで検索

ギャラリー 白
 〒530-0047 大阪市北区 西天満4-3-3 星光ビル
 E-mail: art@galleryhaku.com <http://galleryhaku.com/> website QR

絵画・掛軸・画材
さいき画廊 <水曜日休>
 代表 佐伯弘美
 〒669-1535 三田市南が丘1-13-15 Tel.079-5634059

雑貨店 カルム
calme
https://www.instagram.com/calme_takarezuka/

morinji
www.facebook.com/morinji

美術家 Artist
仲摩 洋一 Yoichi Nakama

抽象画家
児玉明美

珈琲・手描きうたわ
榊 UTA
 OPEN 11:00~18:00
 CLOSE 水・木・祝
 箕面市箕面1丁目8-28
 Tel.072-721-8033

発酵食堂 **ちまちま**
 SPICE CURRY TO OKAZU
 2020.9.OPEN. 箕面市桜井2-8-15

染色小田桐工房
 小田桐ケイタイ
 090-4618-3475

楓 Kaede Gallery
 木と風の見えるギャラリー
 大阪市中央区上本町西1-4-20
 T/F 06-6761-0388 (〒542-0062)
<http://www.7a.biglobe.ne.jp/~kaede-g/>

ステイショナリー
かどや商会
 浜本 優・浜本昭子

昭和24年武田白楊が大阪で創刊
俳句雑誌「七星」
 植山尚星 主宰
 七星発行所/563-0023 池田市井口堂3-7-19

MOSA LAB
 MORINJI SASAMARU

Nobuko Kishimoto
 singer・painter・photographer Nara Japan
<https://sunshinecityrecords.amebaownd.com> [sunshine city records](https://www.instagram.com/sunshinecityrecords)

スーパーのこ時代の地球を考える ムックきのこクラブ
あげ なつきじろう
 夢みるきのこ
<https://plaza.rakuten.co.jp/madaranov>

個人協賛

OSAKA

- 箕面市
 加藤 里佳
 木村 均
 谷尾 英次
 中井 ファミリー
 原田 健
 藤岡 秀和
 村上 明良
 目黒 都朗
 山崎 治子
 吉岡 沙映
 menu
- 吹田市
 関 明美
 豊中市
 岩橋 正文
 池田市
 上畑 ナオミ
 摂津市
 堀内 めぐむ
 大阪市
 岡本 知倫
 菅谷 知子
 山本 静
 柏原市
 村瀬 浩

HYOGO

- 神戸市
 桂田 圭子
 東野 太
 尼崎市
 岩岡 香苗
 西宮市
 久下 典子
 南 好子
 三田市
 扇 新次郎
 姫路市
 小田 かつお
 神崎郡
 牧田 順子

KYOTO

- 京都市
 荒木 晋太郎
 酒井 エル
 宮崎 栄治
 京田辺市
 中村 えい子
 亀岡市
 栗本 夏樹
- NARA**
 生駒郡
 城野 良一

SHIGA

- 守山市
 田中 麻子
- FUKUOKA**
 福岡市
 船戸 康雄
- USA California州**
San Diego市
 Emiko Scudder

yurino misako

住宅の新築・リフォームなら
柴田住研株式会社
 池田市八王寺1-2-7 ☎072-752-5656

ten.to.sen
 original bread beth tea
 「四季の物語」
 @atorie.ten_to_sen

抽象画 **藪内 舞**
 Instagram @mai_yabuuchi



私たちは箕面の森アートウォーク2023を応援します。

箕面伝統銘菓
もみじの天ぷら
http://www.hisakuni.net

久國紅仙堂
箕面市箕面 1-1-40
TEL 072-721-2747

滝道を歩いて
駅より3軒目

Organic
ichigyoh-ji

Printing · Publishing
有限会社クリック

店頭POP
トレー・ハンガー・フラッグ等

パッケージ
化粧品・ケーキ・和菓子・紙袋等

印刷全般
カタログ・会社案内・伝票・名刺・はがき
デザインカード・フライヤー・案内状等

出版:(雅書房)
自費出版・作品集等

印刷の事なら何でもお気軽にご相談ください。

担当 壇雅芳 〒531-0063 大阪市北区長柄東2-3-29-205
06-6949-8550 Fax.06-6948-8157
E-mail: click.win@mbi.nifty.com

絵具の
ことなら! //

画材メーカーの
ホルベイン
ショールーム

水彩絵具・油絵具・アクリル絵具
画筆・水彩紙・キャンパス

詳しくはこちら▶

わくわくを届ける
クリエイティブカンパニー
PLAN HOLIC

企画を通して、関わる全ての人達が
わくわくするを実現する広告代理店です。

HELLO WORLD!
11.25
240C 56

QRコード: @PLAN_HOLIC

ATELIER BADIATA Y.Y

吉田泰昌 オイルパステル画講座

NHK カルチャー梅田教室 第3日曜 13:00~15:00 ☎06-6367-0880
朝日カルチャー中中之島教室 第4木曜 13:30~15:30 ☎06-6222-5222
サンケイリビング梅田教室 第2.4土曜 12:30~14:30 ☎06-6361-6300

ここは布のある公園です
針と糸もあります

いろんな人と
ちくちく針仕事をする
豊かな時間と空間
味わってみませんか?

再生の布展
随時 開催中
詳しくはこちらから

Re_birth

QRコード: @BRANCHER_RE_BIRTH



オリジナルのガラスアート ロクレール (光輝<岩>)

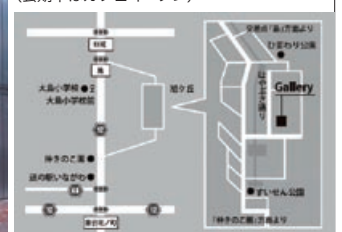
Jiku Art Creationでは、店舗や会社、個人宅など、目的に合わせたオリジナルのガラスアートを制作しています。完全オーダーメイドで、お客様のご要望に応じた大きさやデザインの作品を職人が丁寧に制作いたします。まずは、お気軽にご相談ください。

〒562-0003 大阪府箕面市西小路3丁目2-14 102
Tel : 072-723-7277 Fax: 072-723-7880
HP : https://www.jikuartcreation.jp
Mail: email@jikuartcreation.jp
Online Shop https://www.jikuartcreation.jp

営業時間 午前9時~午後6時
定休日 土・日曜・祝日
{電車でお越しの場合}
阪急電鉄宝塚線「石橋阪大前駅」
乗換え箕面線「箕面駅」下車
箕面市役所方面へ徒歩約10分



Jiku Art Creation Gallery
666-0212 兵庫県川辺郡猪名川町旭ヶ丘1-238
展示会・イベント開催時に開館
(会期中はカフェオープン)



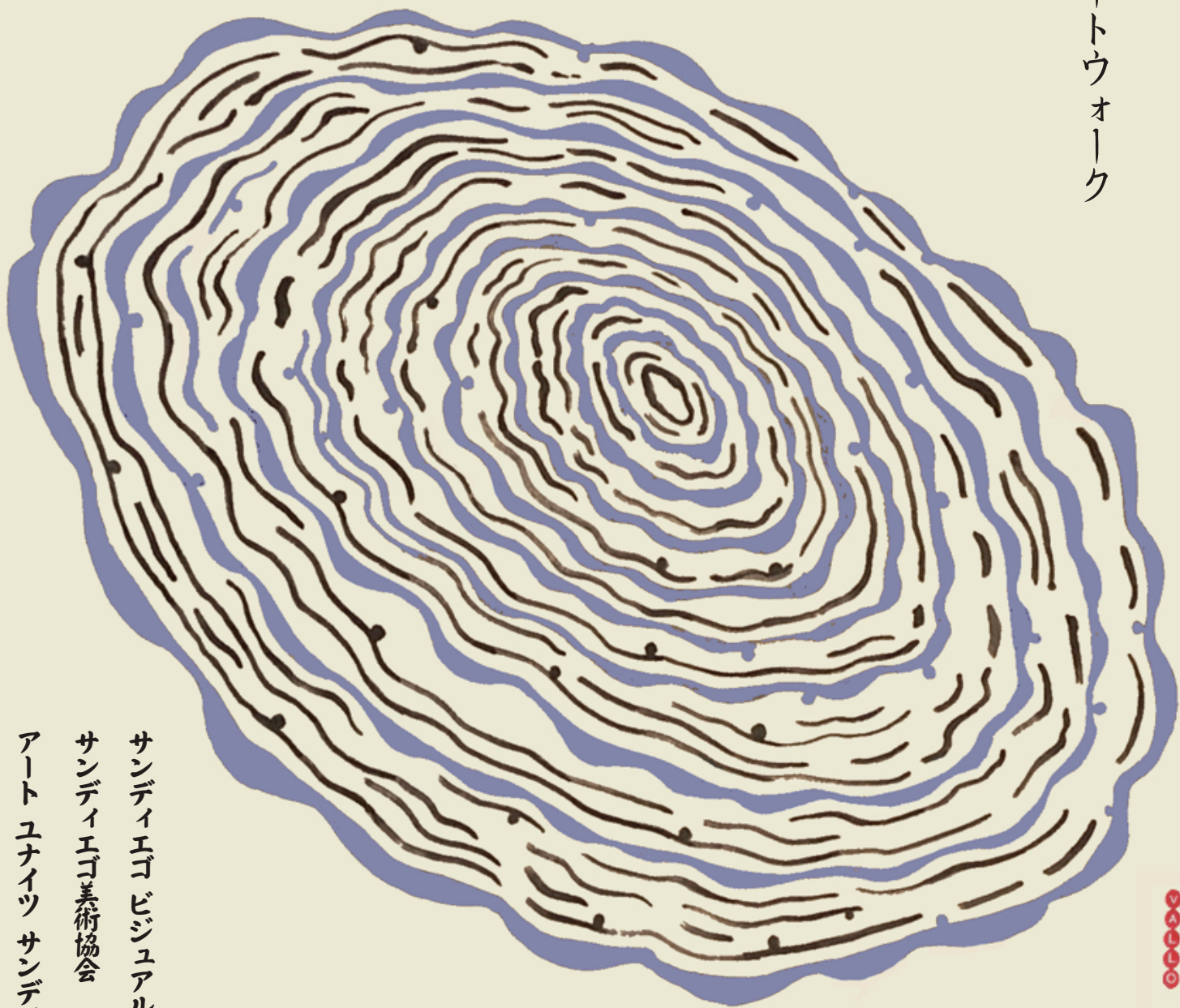
株式会社 Jiku Art Creation



私たちは箕面の森アートウォーク2023を応援します。

**San Diego Visual Arts Network
San Diego Art Society
Art Unites San Diego**

おめでとう
箕面の森アートウォーク



VALLO

**Congratulates
Minoh no Mori ArtWalk
2023**

サンディエゴビジュアルアートネットワーク
サンディエゴ美術協会
アートユナイツ サンディエゴ(アートでつながるサンディエゴ)



私たちは箕面の森アートウォーク2023を応援します。

賃貸住宅^{サービス}

総合不動産

賃貸・売買・仲介・管理
リフォーム・店舗・事務所

あるあるイイ部屋♪
ちんざっさっさ

ちんざくん

琴の家

野口英世
ゆかりの箕面保養所

<https://www.cjs.ne.jp/>

賃貸住宅サービス

検索



関西を中心に東京・名古屋・広島・福岡に110店舗のネットワーク

案内センターを含む



私たちは箕面の森アートウォーク2023を応援します。

ジモトリョク ジモトアイ ツナグ



宅地建物取引士
建築士

株式会社 **アルテ・アバン**

住宅・店舗・ビルの施工、設計、デザイン
コーディネート、建築物のリフォーム
リノベーション、アートディレクション

〒531-0041 大阪市北区天神橋7-12-4

グレーシィ天神橋ビル2号館・別館

Tel 06-6690-0227 <https://morinowa.jp/>

morinowa グループ

盛不動産株式会社

studio **ARRT**



レトロな「市場」の中のギャラリーが「世界のアート」への入口です。
We'll fly to the world art scene from the gallery in the marketplace.

コンテンポラリーアートギャラリーZoneは、桜井市場の中にあります。
通路に面する壁が無いので、お買い物やカフェの利用で通りかかったお客様も自由に鑑賞されています。生活空間とアート空間の境界線が無く、現代アートをより身近に感じることができるギャラリーです。

絵画、立体、インスタレーション、パフォーマンスなど、ジャンルを問わず、私たちの眼にかなった作品を紹介しています。

また、アメリカ・カリフォルニア州サンディエゴにも拠点を持ち、日本のアートを紹介しています。



コンテンポラリーアートギャラリー Zone 中谷徹、中谷雅代
大阪府箕面市桜井2-10-5 <阪急桜井駅(桜井市場内)> phone 080-3106-3177
San Diego Office: 7791 Acama St. San Diego, CA 92126 phone (USA): 1-858-547-9250
www.artgallery-zone.com



CATBOX BOOKS

私たちは作品や作品展の記録を冊子として制作しています。



「ランゲルハンス島の探検575」1500en

Gデザイナー橋本修一とイラストレーター橋本あやめのコンビが贈る575のリズムで展開するヘンテコ絵本漫画。

お問い合わせは **CATBOX**
photo@catbox-x.com
またはコンテンポラリーアートギャラリー **Zone** www.artgallery-zone.com



写真集 千里川勝部 1000en

箕面ドリーム 1500en

女神出現 1000en

地球に落ちている物を並べるプロジェクト 1600en

記憶という名の回路 1500en

POPマウンテン 1500en

CATBOX WEBミュージアム www.catbox-x.com



レトロな魅力いっぱいの桜井市場の中にあるレンタルギャラリーです。トライアングルという名前には、アーティスト、お客様、地域の三者のつながりを大切にしたいという願いが込められています。

トライアングルギャラリーは、展示を希望する方はどなたでもご利用できます。個展、グループ展、イベント等、アイデア次第で幅広くご活用いただける表現の場を提供いたします。

場所 大阪府箕面市桜井2-10-5 <阪急桜井駅(桜井市場内)>

時間 12:00~18:00 木、金曜日休み

料金 ●1週間 35,000円 ●2週間 60,000円

※1週間は土曜日~水曜日の5日単位(搬入は木曜日から金曜日)

販売手数料 売上の30%を手数料としていただきます。

※詳細はご相談ください。

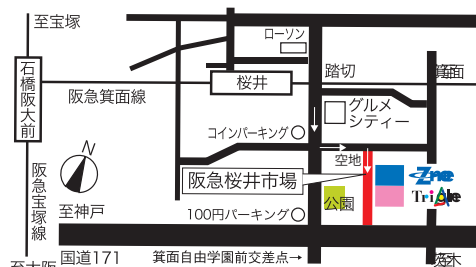
レンタルスペース トライアングルギャラリー

TriAngle Gallery

お問い合わせ、申し込みは
コンテンポラリーアートギャラリー **Zone**
Phone. 080-3106-3177

<http://www.artgallery-zone.com/>
〒562-0043 大阪府箕面市桜井2-10-5

阪急桜井駅
桜井市場内



梅田から約30分、大阪空港からも約30分





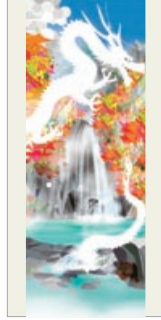
私たちは箕面の森アートウォーク2023を応援します。

箕面の森アートウォーク2023 記念グッズ(販売予定) デザインは変更になる場合があります。

これまでの箕面の森アートウォーク作品集



クリアファイル



大型ポストカード



缶バッジ



2017年



2020年 各1000円

お求めは
箕面の森アートウォーク案内所(会期中)
またはコンテンポラリーアートギャラリーZone

売上げの利益は箕面の森アートウォークの運営費とされます。制作協力 CATBOX-X



日本最古の弁財天
宝くじ発祥の地
箕面山瀧安寺

〒562-0002
大阪府箕面市箕面公園2-23

Tel : 072-721-3003
HP : <https://www.ryuanji.org>
E-mail : info@ryuanji.org



GOLD CASTLE COFFEE

Coffee experiences delivered to your door.

ゴールド
キャッスル
コーヒー

箕面桜井の昭和レトロな桜井市場にある
スペシャルティコーヒー専門店 / 自家焙煎・カフェ

希少性が高く、高品質な豆を使用。広がる芳醇な香りと爽やかな酸味。
心温まる贅沢な「時間」をお届けします。



Online Shop



HP



Instagram



限定「箕面瀧道ブレンド」
橋本修一氏とのコラボデザイン

五感で楽しむ滝道をさらに味覚でも楽しんでいただこうと、風景の邪魔にならない、落ち着いた味わい深いブレンドです。温度が下がるにつれて風味が変わるコーヒーは、時間が経っても美味しく最後まで楽しめます。

GOLD CASTLE COFFEE 店舗および滝道沿いのカフェ「花こまち」や周辺店舗にて販売予定。

ゴールドキャッスルコーヒー
GOLD CASTLE COFFEE

562-0043 大阪府箕面市桜井 2-10-5
TWENTY EIGHT 合同会社

店舗営業時間 日~木 11:30-18:00

TEL 050-3707-9005

MAIL gc-support@gldcastle.com

Instagram [goldcastlecoffee12](https://www.instagram.com/goldcastlecoffee12)



箕面瀧道
ブレンド 100g
100円引き
クーポン半券
有効期間: 2023/10/21-11/3